

平成30年度第8回小高区地域協議会会議録

- 1 日 時：平成31年1月15日（火）
午後2時00分～5時00分
2 場 所：浮舟文化会館 研修室

●小高区地域協議会委員数：15人、当日出席委員：11人（欠席委員4人）

【出席委員名】

林 勝 典 会長	佐 藤 直 美 委員、
本 田 博 信 委員、	西 山 喜 代 子 委員、
田 中 由 里 子 委員、	堀 内 洋 伯 委員、
小 牛 田 一 男 委員、	飯 塚 宏 委員、
杉 重 典 委員、	小 林 友 子 委員、
山 崎 正 典 委員	

【説明職員等】

小高区役所長	紺野 昌良
小高区地域振興課長	上野 勝
小高区地域振興課主任主査	藤田 幸一
小高区地域振興課振興係長	門馬 修一
小高区地域振興課振興係主事	鶏徳 浩司（書記）
小高区市民福祉課長	渡辺 和宣
小高区産業建設課長	相良 裕季
総務部長	石川 浩一
総務課長	宝 玉 光之
総務課人事給与係長	西川 廣昭
総務課人事給与係主査	早坂 和紀
企画課長	門馬 哲也
企画課企画係主査	只野 誠
企画課企画係主査	大和田 智之
危機管理課長	中本 直記
危機管理課係長	小川 務
危機管理課主査	芝田 文一
長寿福祉課長	山田 祐子
長寿福祉課長寿福祉係長	矢吹 喜彦
鹿島区地域振興課長	高野 雅伸
鹿島区地域振興課庶務係長	宮本 正晴

1. 開 会

○事務局

委員15人中、11人の出席ということで、過半数を超えておりますので、協議書10（2）により、本日の会議は成立しております。

2. 会長挨拶

○会長

（林会長 挨拶）

○事務局

協議書10（1）により、会議の進行は、会長が行うこととなります。林会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

3. 議事

（1）会議録署名人の指名

○会長

会議録署名人は、山崎正典 委員、佐藤直美 委員の2名にお願いします。

（2）協議事項

① 小高区における地域医療について

○会長

小高区地域協議会として1月10日に協議した内容をまとめ、賛否両論を明記した資料を提言書（案）としてお配りしています。お読みいただいて意見をいただきたい。

○杉委員

アンケートの実施が必要だと思う。前回のアンケートはごく一部だけが対象だったが、小高区居住者全員を対象に、内容を掘り下げて実施すべきではないか。

○会長

それでは、提言書（案）に「アンケートの実施」を追記します。

それ以外の意見はありませんか。なければ1件追加し、提出したいと思います。（異議なし）

（3）諮問事項

① 南相馬市復興総合計画後期基本計画（案）について

○会長

次に、諮問事項①『南相馬市復興総合計画後期基本計画（案）について』を議題といたします。担当課の説明に入ります前に、小高区役所長から市長諮問書の提出があります。

（小高区役所長 諮問書読み上げ）

○会長

担当課の説明をお願いします。

（企画課 説明）

○田中委員

市民説明会の参加者の地域別の内訳を教えてください。

○企画課

資料1－4 89頁に記載のとおり、鹿島区21人、小高区28人、原町区16人です。

○堀内委員

「学校環境の整備」で、関係団体との通学路の合同点検回数が、年1回では少なすぎるのではないかと。各学校として1回なのか、教育委員会と合わせて1回なのか。

○企画課

関係団体とは、教育委員会・学校・県・警察で、合同で通学路の一斉点検を行っています。これを続けて実施していく指標です。

○堀内委員

学期毎に1回、年3回くらいできないか。

○企画課

目標値に「年1回↑」と↑があるので、年1回以上を目標としています。教育委員会にお伝えして課題としたいと思います。

○西山委員

若い方が町おこしやボランティア、Uターンなどで南相馬市に入ってきているが、若い方の交流事業がないのではないか。市には積極的にそうした場を作っていただきたい。地元で結婚・子育てができるような施策を復興計画の中に入れば人口も増えて希望が持てるのではないか。

○企画課

資料1-4 56頁に記載の通り、交流人口の拡大として施策を取り組んでいきます。基本計画は市の方針として具体的な内容が明確ではないかもしれませんが、基本計画のもとに実施計画を作り、そこで具体的な事業を定めていくので、交流事業も実施計画で定め、事業として取り組めるよう対応していきたい。

○西山委員

南相馬市には民話の語り部がたくさんいらっしゃいます。この方たちのような、地元を愛するような地域に根ざした教育はできないか。歴史的に有名な人物も地元から輩出しているので、それらを理解できるような授業やクラブをつくるなどできないか。また、小学校で民話クラブを作るなど、子供たちが発表する場があれば、地域を愛する気持ちが育つのではないか。要望です。

○企画課

市長も、ふるさと教育に力を入れたいと申しているので、学校教育、生涯学習に取り入れる方針です。

○飯塚委員

資料1-4 38頁の心身の健康づくりに、ゲートキーパーが68人とあるが、ゲートキーパーの重要性が市民に知られていないのではないか。目標

値ではもっと増やすようだが、学校で起きた問題を、地元で解決できるようにしてほしい。

○企画課

学校教育の中で、不登校やいじめ防止などに積極的に対応したい。自殺予防に対しては、主な取り組みとして○精神保健講演会・個別相談、○心の健康相談会・訪問指導、○ゲートキーパー養成研修会の開催、があります。また、保健計画の中でも自殺予防に積極的に取り組むと記載していますので、担当課で実施していきたいと考えています。

○西山委員

小中学校にはカウンセラーは何人配置されているのか。

○企画課

資料が手元にないので、後日ご返事いたします。

○西山委員

震災で心に傷をうけた子供たちが、カウンセラーの方々に救われた事例を多く見てきた。担任の先生では対応できない部分をカウンセラーがサポートしてくれると思うので、カウンセラーの配置をお願いしたい。

○杉委員

南相馬市には総合体育館があるが、スポーツ大会での利用が少ないのではないか。大会を実施することにより、そこに資金が投入される。原町でできると地元にも還元できるのではないかと。施設利用手続きを簡素化することも必要ではないかと。要望です。

○小林委員

生涯学習センターで行われている自家消費の食品等の放射能簡易分析は、今と同じように行われるのか。

○企画課

今のところ当面継続する予定です。

○堀内委員

小高駅東側の今後の利用はどのようになっているのか。町中でなく、国道6号線近辺の利用を南相馬市としてはどのように考えているのか。

○小高区役所長

現在、市として具体的な計画はありません。企業や店舗が進出してくれるとありがたいが、これからの対応となります。

○小林委員

小高区として、まとめて今後のまちづくりを策定した方がいいのではないか。

○堀内委員

小高は通過点でしかない。目玉となるものが必要ではないか。

○小林委員

2012年から小高のまちづくりを行っているが、何も実現していないので、このような意見がでてくる。このまちづくりは、帰還が始まる前から行っているが、現在は3000人ほどが戻ってきているので、この人たちがどのようなまちづくりを望んでいるのか、どのような将来像を描いているのかを踏まえ、新しいまちづくり計画を実施してもよいのではないか。

○山崎委員

商工業の数値目標について、5年後、どのような経済圏にするかという目安は必要ではないか。製造業における製品出荷目標値は2022年に900億円とあるが、商業には数値目標がない。施策的に乖離がある。商業についても数値目標を持たないと、具体的な施策を出せないのではないか。空き店舗対策の数値目標はよいと思うが、どのような規模の経済圏を作るのかと結びつけるのに数値目標は必要ではないか。

○企画課

資料1-4 51頁に商業の年間販売額等の推移のグラフがありますが、年間販売額等が震災前より増えています。分析の結果、これは震災復興関係の特需であり、将来予測値として現状値を上回るのは難しい状況ですので、今回は数値目標を外しました。そして今回は空き店舗を減らすという施策にしました。

○山崎委員

30%ダウンするという予測があるなら、下げ幅を15%に抑える施策の立て方もあると思うが、関係団体が納得しているなら問題ないです。

○企画課

総合計画審議会にて再度確認いたします。

○小高区役所長

いままでは「小高区に戻るにあたって必要なものは何ですか」とアンケートを実施した結果、学校の再開、JRの再開、医療機関の再開、商業施設の再開の要望が多く、これらを帰還の施策として力を入れてきました。平成31年3月に仮設住宅の供与期間も終わり、帰還の傾向が判るのではないかと考えています。

今後も多くの方の帰還・移住に取り組むとともに、現在の住民と協議をして、まちづくりに取り組む必要があります。震災前の居住人口約12,800人にとどくことは困難だと思いますが、現在の住民がどのような施策を実施すれば小高に住み続けられるか協議を繰り返し、力を入れていきたいと考えています。

来年度は部門別での座談会を計画しているので、意見交換をし、市の施策に反映させていきたい。

○会長

それ以外の質問はないですか。なければ、答申のまとめに入ります。

原案どおり、妥当と判断することに異議はありませんか。（異議なし）

では委員から出された要望・意見については対応していただき、原案のとおり妥当といたします。

（会長 答申書読み上げ）

（４）報告事項

① 平成31年度南相馬市組織機構改革の概要について

○会長

担当課の説明をお願いします。

(総務課 説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について意見または質問があれば、お願いいたします。

○小牛田委員

小高区役所の農林水産業担当理事は部長ですか。

○総務課

部長相当職の理事です。経済部長、経済部担当理事を配置します。

○会長

スポーツ推進課は鹿島区に配置とありますが、なぜ本庁ではなく鹿島区役所なのか。

○総務課

フロアの関係で鹿島区役所に配置する準備をしています。

○会長

それ以外の質問はありませんか。それでは報告事項①を終了します。

② 南相馬市指定管理者制度導入計画（第3版）（素案）について

○会長

担当課の説明をお願いします。

(企画課 説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について意見または質問があれば、お願いいたします。質問はありませんか。それでは報告事項②を終了します。

③ 南相馬市敬老祝金等条例の一部改正について

○会長

担当課の説明をお願いします。

(長寿福祉課 説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について意見または質問があれば、お願いいたします。質問はありませんか。それでは報告事項③を終了します。

④ 地域防災計画（素案）について

○会長

担当課の説明をお願いします。

(危機管理課 説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について意見または質問があれば、お願いいたします。

○杉委員

資料 3 13 頁に、全面緊急事態となった時に「安定ヨウ素剤の配布準備」とあるが、前もって配布している自治体もあるようだ。緊急事態が発生したときに配布となると混乱が予想されるのではないか。

○危機管理課

この件について福島県と確認しています。県の計画では事前配布は実施していません。それに市の計画も合わせ、事前配布は行わず「配布準備をする」と計画を変更しています。安定ヨウ素剤は各学校・生涯学習センターに配置しております。

○会長

安定ヨウ素剤について、住民の中には安全性を不安視している人もいるので、説明が必要だと思う。東京電力原子力発電所事故の時、行政区の代表が人数を確認して安定ヨウ素剤を受け取りに行ったら、本人以外には渡せないと言われ、もめたことがあったので、受け取り時の手続きも決めてほしい。

○堀内委員

家庭用の防災行政無線の戸別受信機は、現在も貸出しているのですか。

○危機管理課

役所窓口にてお申込みいただければ、随時貸出しております。

○堀内委員

全戸配布はしていないのですか。

○危機管理課

申請があったものについて、貸出しを行っております。

○堀内委員

屋外の防災行政無線は聞き取りにくいので、スピーカーの配置とか再考してほしい。

○危機管理課

防災行政無線は区ごとに周波数が異なっています。仮設避難所が鹿島区で、そこで使用していた戸別受信機は小高区では使えません。ですので、各区役所で対応した戸別受信機を借りていただきたい。屋外の防災行政無線が聞き取りにくい件については、緊急情報等メールサービス(防災メール)でも同内容を配信しているので、活用をお願いします。

○飯塚委員

防災計画は学校で子どもたちに説明し、積極的に防災訓練に参加してほしい。平成22年10月に避難訓練を実施した経験から、平成23年の震災時はスムーズに避難場所に集まることができ、市職員が到着する前にトイレや暖房器具の設置ができた。今後、他の市町村で災害が発生したときに、南相馬市が受入れを行うこともあると思う。様々な想定で、各学校で防災訓練を行えばスムーズに避難ができるのではないか。

○危機管理課

市は平成31年度事業において個別の地域防災訓練も検討しています。教育委員会との連携も大切ですので、学校で子供たちにどのように指導していくか検討していきます。

また平成31年度事業で、自主防災組織の活性化を行政区長と協力しながら進めてまいります。

○会長

それ以外の質問はありませんか。それでは報告事項④を終了します。

- ⑤ 市民一体化復興促進基金条例に基づく「市民の一体感の醸成に必要と認める鹿島区の事業」について

○会長

担当課の説明をお願いします。

(鹿島区地域振興課 説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について意見または質問があれば、お願いいたします。

○杉委員

第2回小高区地域協議会で「市民一体感醸成事業の内容が決まっていないのに、予算の根拠はどこから出したのか。足りなくなったらどうするのか」の問いに、担当課は「足りなくはない」と返答した。今回の資料を見ると、高速道路通行料金助成事業が余ったから市民一体感醸成事業に使う、という考えに思える。高速道路通行料金助成事業で余った金額は基金に戻すべき。

○田中委員

残ったお金は基金に戻すべきと提言したが、戻せませんと回答があった。そこは検証してほしい。

○小林委員

まちづくり委員会の中で、基金の使い方として「新規事業ならよい」となっていたと思うが、サイクリングロードの改修、温浴施設の改修と、改修工事が多い。

○田中委員

補助金ではなく、基金なのでよいのではないか。まちづくり委員会の中で、改修工事は補助金ではなく、基金を使うと提言があればよかった。

○西山委員

南相馬市は区によって賠償金の額が違ったりして、市に求める内容が違っていた。それもあって高速道路の補助金という話が出てきたと思う。余った金額は基金に戻すべきと考えるが、少しでも鹿島区の方々の心が潤うのなら、基金を利用してもよいと思う。

健康づくりトレーニングセンター整備事業について、小高区は復興拠点施設（小高交流センター）にトレーニング施設を作り、原町区にはスポーツセンターがあるので、鹿島区にも必要だと思う。南相馬市民が一体となるのであれば、基金を活用して住民の要望に応えるのはよいことだと考えます。

○会長

それ以外の質問はありませんか。それでは報告事項④を終了します。

4. その他

① 次回会議開催について

○会長

次に、その他『次回会議開催について』を議題といたします。次回は2月12日（火）午後3時から浮舟文化会館での開催を予定しておりますが、よろしいでしょうか。（異議なし）

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

なければ、以上をもって、本日の会議を終了いたします。

5. 閉 会

平成30年度第8回小高区地域協議会会議録

会議録署名人 山崎正典

会議録署名人 佐藤道義